



2023 年 2 月 7 日

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598106
アウディコミュニケーション センター

アウディ、ソフトウェア部門を強化、IT 分野で約 400 人を新規雇用

- 電子音から運転支援システムまで：アウディの IT スペシャリストが、CARIAD からエレクトロニクスアーキテクチャーとソフトウェアをアウディブランドモデルに導入、独自機能を開発
- CEO マルクス ドゥスマン：「アウディは明確な戦略により、将来重要な分野の雇用を強化。この分野における、フォルクスワーゲン グループ全体の力を集結」
- 人事および組織担当取締役 ハビエル ロス：「アウディはパイオニア精神を備えた優秀な人材を募集。非常に魅力的な技術環境で、多種多様な仕事に独立して取り組む自由を提供」

（ドイツ本国発表資料）2023 年 2 月 1 日、インゴルシュタット：車内で複合現実ヘッドセットを装着し、バーチャルの車両情報を見ながら、現実世界の状況を確認する。アウディは未来のモビリティ体験を実現するシステムを開発しており、そのためにフォルクスワーゲン グループ内のシナジーを活用しています。CARIAD は、フォルクスワーゲン グループのソフトウェア会社として、統合されたテクノロジーのプラットフォーム開発に取り組んでいます。アウディは、ブランド独自のデジタル機能を自社開発しながら、将来的には CARIAD が開発したソフトウェアを、アウディのモデルラインナップに導入する予定です。そのため、アウディブランドは、IT 分野で約 400 人を新規雇用し、従業員の変革を次の段階に引き上げるとともに、ソフトウェアの専門知識を強化し、未来に関連する分野の変革を推進しています。今後さらに、2025 年までに、合計最大 2,000 人の新規雇用を計画しています。

AUDI AG 最高経営責任者（CEO）マルクス ドゥスマンは、次のように述べています。「アウディは、他の自動車メーカーに先駆けて、e モビリティとデジタル化に向けた明確な戦略を打ち出しました。これにより、将来の重要な分野における雇用を強化することが可能になりました。IT 分野では、フォルクスワーゲン グループ全体の力を結集しています」。アウディが提供するソフトウェアとクルマの世界を融合させる多面的な作業は、IT スペシャリストにとって非常にやりがいのある仕事です。「自動運転からデジタルエコシステムまで、ソフトウェアの能力を高めることで、イノベーションを路上で実現することができます」。

ヘッドアップディスプレイから電子音まで

現代のクルマは、あらゆる領域にソフトウェアが組み込まれています。その一例が、Audi Q4 e-tron および Q4 Sportback e-tron の拡張現実ヘッドアップディスプレイです。このディスプレイは、ナビゲーションシステムのガイダンスなど、バーチャルコンテンツに加え、一部の動的コンテンツをフロントウィンドウのドライバーの視野内に表示します。このディスプレイは、特に視界が悪い状況で、走行快適性と安全性を高めます。ヘッドアップディスプレイは、革新的なソフトウェア開発によって実現しています。同じことは、アウディブランドの運転支援システムにも該当します。

さらに、e モビリティもソフトウェア開発者に新しい活動分野を切り開いています。例えば、電気自動車の音を作ることや、クルマの安全性、効率、走行特性、環境バランスに大きな影響を与える、電気駆動システム用のパワーエレクトロニクスの制御もソフトウェア開発者の仕事です。

将来のビジョンに取り組む

同時に、アウディは未来のソフトウェア主導のコンセプトにも取り組んでいます。その一例として、[Audi activesphere concept](#) では、3D コンテンツとインタラクティブな要素を視野内に同時に表示し、ドライバーと乗員を個別に構成可能な複合現実ヘッドセットを介して、現実世界の状況や道路を見ることができます。Audi dimensions と呼ばれるこの革新的なオペレーティングコンセプトでは、IT スペシャリストが現在取り組んでいる、未来のアプリケーションの姿を垣間見ることができます。

最高の雇用主としてのアウディ：パイオニア精神を高める自由と柔軟性

AUDI AG 人事および組織担当取締役 ハビエル ロスは、次のように述べています。「私たちの目標は、持

続可能なプレミアムモビリティの先駆けとなることです。そのため、パイオニア精神を備え、新しい道を開拓する勇気を持ち、継続的なアウディブランドの成功に貢献する逸材を求めています。アウディでは、非常に魅力的なテクノロジー環境で、独立して多種多様な仕事に取り組む自由を楽しむことができます」

直近では、世界的な組織 Top Employer Institute が、AUDI AG を Top Employer Germany（ドイツにおける最高の雇用主）に3回連続で選出。アウディは、企業責任、ダイバーシティ＆インクルージョン（多様性と一体性）、ウェルビーイングの分野で特に好成績を収めました。より良い働き方を提唱する [better normal](#)（ベターノーマル）やアウディの [hybrid working](#)（ハイブリッドワーキング）雇用契約などのプロジェクトは、柔軟な働き方を推進しています。同時に、専門能力開発プログラムと従業員ネットワークが会社の多様性を促し、ドイツの拠点だけでも100以上の国籍の従業員が働いています。さらに、2029年まで雇用を保証することにより、アウディの全従業員は、未来の分野に関する新しいスキルの習得に安心して取り組むことができます。アワードは、アウディをドイツで最も魅力的な雇用主に位置付けています。

IT ジョブオンライン – 共同キャリアサイトでチームワークを示す

新しい人材は、[Audi Job Portal](#) に加え、フォルクスワーゲンおよびCARIADの[共同キャリアサイト](#)の両方で募集しています。すべてのグループブランドと同様に、フォルクスワーゲン乗用車部門は、CARIADが開発したエレクトロニクスアーキテクチャーを、主に量販市場向けのモデルに導入しています。その一方で、アウディは、Audi activesphere concept が他のイノベーションと共に示した新しい操作コンセプトに代表されるように、プレミアムなパーソナルモビリティに重点を置いています。フォルクスワーゲングループは、このような様々な開発の優先事項を考慮しながら、個々の機能とサービスをより迅速に市場に投入することを目指しています。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。